

全国学力・学習状況調査の結果と考察

令和5年4月18日に6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の調査結果と考察をお知らせします。

学習の結果「平均正答率（%）」 下線 全国を上回ったもの

	国語	算数
浦島小学校	66	62
神奈川県との差	0	-1
神奈川県	66	63
全国	67.2	62.5

国語正解率	浦島	県	全国	算数正解率	浦島	県	全国
話すこと 聞くこと	68.7	70.4	72.6	数と計算	62.5	67.1	67.3
書くこと	29.0	25.6	26.7	図形	50.8	50.0	48.2
読むこと	70.0	70.4	71.2	変化と関係	75.0	72.3	70.9
言葉の特徴や使い方 に関する事項	69.2	70.1	71.2	データの 活用	63.3	65.2	65.5

全国の結果と比較して結果に特徴のある問題

国語	<p>○全国より上回った問題</p> <ul style="list-style-type: none"> 原因と結果など情報と情報との関係について理解できている（知識・技能） 目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができる（思考・判断・表現） <p>△全国より下回った問題</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる（思考・判断・表現） 目的や意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる（思考・判断・表現）
算数	<p>○全国より上回った問題</p> <ul style="list-style-type: none"> 伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できる（思考・判断・表現） 百分率で表された割合について理解できる（知識・技能） <p>△全国より下回った問題</p> <ul style="list-style-type: none"> 一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすることができる（知識・技能） 加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができる（知識・技能）

数値は、「当てはまる」、ICT 機器については、「ほぼ毎日」と回答した児童の割合(単位は%)

昨年度6年生との比較

	学習や生活に関する意識	浦島	昨年	全国
①	国語の勉強は好きですか。	28↑	27.9	23.8
②	国語の授業の内容はよく分かりますか。	51↑	37.2	40.4
③	算数の勉強は好きですか。	32↓	37.2	34.8
④	算数の授業の内容はよく分かりますか。	45↑	43	45
⑤	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。	44↓	65.1	28.2
⑥	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	41↑	31.4	30.5
⑦	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。	41↑	38.4	38.6
⑧	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いのよさを生かして解決方法を決めていますか。	33↑	32.6	31.8
⑨	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。	37↑	36	30.6
⑩	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか。	42↑	39.5	44.3
⑪	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習に取り組んでいますか。	43→	43	31.8
⑫	学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。	32↓	32.6	31
⑬	授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか。	44		39
⑭	家で自分で計画を立てて勉強していますか。(学校の授業の予習や復習を含む)。	29↑	23.3	28.7
⑮	自分には、よいところがあると思いますか。	48↑	34.9	42.6
⑯	将来の夢や目標をもっていますか。	57↑	53.5	60.8
⑰	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	66↓	68.6	75.3
⑱	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	36↑	29.1	32

学習状況において、本校の児童の正答率は、ほぼ全国や神奈川県と同じ水準にあります。一方、無回答率が全国平均よりも高い傾向にあります。粘り強く取り組み、学習内容がよく分かるという児童がさらに増えるよう、日々の授業のさらなる充実に努めてまいります。

「学習や生活に関する意識」において、全国平均と比較して⑥⑨⑪⑫⑬⑭などが高いのは、学校教育目標「自ら学ぶ子」のもと教育活動を進めてきた成果であると考えます。また、⑥⑦⑧⑨⑪⑫⑮⑱などは、本校が子どもたちに育てたい資質・能力である「課題解決能力」や「コミュニケーション力」、それらを支える「自己肯定感」が、子どもたちに育ってきている表れだと考えます。一方、⑯⑰の結果から夢や目標をもつこと、人や社会の役に立つことの尊さを教育活動全体を通して、子どもたちに伝えていきたいと考えます。全体的に「当てはまる」と回答した層が全国平均を上回る一方、肯定的ではない回答の割合が高い傾向も見られます。全体の意識をさらに引き上げることができるよう学び合い、認め合い、高め合う関係づくりに努めていきます。

「先生はあなたのよいところを認めてくれている」「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」の肯定的な回答が、それぞれ82%、59%と全国平均を下回っています。教職員が児童一人ひとりのよさやがんばりに対して、より効果的な働きかけを行うと共に、児童自身が自分のよさや可能性を認識できるような振り返りの場面や機会をつくっていきます。また、児童が安心して相談ができる関係や体制づくりに努めてまいります。さらに、「学校が楽しい」に対する肯定的な回答は、全国平均と同じ85%でした。全ての子どもたちが安心して楽しい学校生活を送ることができる学校をめざして引き続き取り組んでまいります。昨年度の6年生との比較においては、コロナ禍の影響や児童個々の状況等が異なり、単純に比較はできませんが、全体としては、肯定的な回答が増えている傾向が見られます。

保護者、地域の皆様と共に子どもたちの成長を支えていきます。引き続き、保護者、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。